

## 「TRG(T細胞受容体γ鎖)遺伝子再構成《PCR法》」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、標記項目につきましては、現行試薬の販売中止により同一メーカーが販売する代替試薬に変更させていただきますので、取り急ぎご案内申し上げます。

また、本変更とは別に8月3日(月)受付日分より、免疫関連遺伝子再構成《PCR法》／チャート報告書の仕様も変更となります。詳細はINFORMATION No.20-113a(全)※1をご参照ください。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■対象項目/変更内容

頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧
101	4989	TRG(T細胞受容体γ鎖)遺伝子再構成《PCR法》	検査方法	PCR・キャピラリー電気泳動法	同左
			検体量 / 保存方法	EDTA-2K 加血液 3mL/冷蔵 または 骨髓液 1mL/冷蔵 または 組織 200mg(6mm 角)/凍結 (-70°C以下)	同左
			基準値	再構成を認めない	同左
			所要日数	9～13日	同左
			検査実施料 / 判断料	2,429点 遺伝子関連・染色体検査判断料	同左
			検査委託先	LSIメディエンス (→1)	同左

#### ■変更期日

●2020年8月3日(月)受付日分より

# TRG(T細胞受容体 $\gamma$ 鎖)遺伝子再構成《PCR法》

現行試薬の販売中止に伴い、同一メーカーが販売する代替試薬へ変更いたします。現行試薬は TRG 遺伝子領域を 2 種類のプライマーミックスに分けて増幅を行い再構成を検出しておりましたが、新試薬では TRG 遺伝子領域を網羅できるプライマーミックス 1 種類で増幅を行い、再構成を検出します。

本変更に伴い、8月18日(火)ご報告分より別紙報告書も下記の通りに変更させていただきます。なお、変更後は現報告書でのご報告をいたしかねますので、予めご了承の程お願いいたします。

また、本変更とは別に8月3日(月)受付日分より、免疫関連遺伝子再構成《PCR法》/チャート報告書の仕様も変更となります。詳細は INFORMATION No.20-113a(全)※1 をご参照ください。

## 【新報告書見本】

株式会社LSIメディエンス		*45793-20PM-0005*			
<b>遺伝子検査報告書</b>					
( ) ( )	病院名	報告日	年 2月 日		
施設名	様	受付日	年 2月 日		
氏名	様	保存No.			
科名	担当医	先生	検体No.		
病棟	材料	採取日	年 月 日		
カルテ No.	ID	性別	年齢	才	担当者
検査項目	TRG遺伝子再構成:PCR法				責任者

  

【検査結果】	<b>再構成を認めない</b>		
<table border="1"><tr><td>V<math>\gamma</math>/J<math>\gamma</math></td></tr><tr><td>—</td></tr></table>		V $\gamma$ /J $\gamma$	—
V $\gamma$ /J $\gamma$			
—			
【判定の表記】 +: 陽性 -: 陰性			
判定が陰性であっても明瞭なピークが認められる場合、次の記号で表します。 ※: ピーク高が陽性コントロール以下である #: ピークの出現位置が陽性出現範囲外である			
この場合添付のチャートをご参照ください。			
【判定基準】 検出されたピークが規定された出現範囲内であり、かつ陽性コントロールのピーク高よりも高い場合に陽性と判定いたします。			
【陽性ピーク出現範囲】 V $\gamma$ /J $\gamma$ : 159~207bp			
【方法】 DNA抽出 → PCR → キャピラリー電気泳動 → 結果判定			
【参考文献】 Leukemia 2003,17:2257-2317 JMD 2010,12(2):226-238			

お問い合わせ先 株式会社LSIメディエンス 遺伝子解析部 遺伝子検査グループ  
〒174-8555 東京都板橋区志村3-30-1 TEL: 03(5994)2496 FAX: 03(5994)2973

1/3

(変更箇所)

新試薬では、TRG遺伝子を網羅できるプライマーミックス1種類で増幅を行うため、1種類の結果のみのご報告となります。

※実際の報告書はA4サイズです。